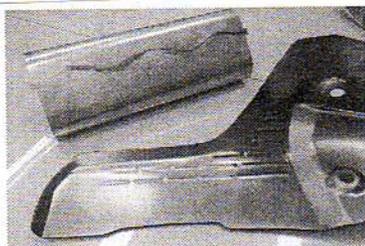


## 榛葉鉄工所

# 3次元加工機を導入

## 1台でレーザー溶接・切断



【浜松】榛葉鉄工所（静岡県掛川市、榛葉貴博社長、0537・27・0721）は、輸送機

器用金属部品の試作や少

量品生産向けに3次元加

工ができるファイバーレ

ーザー加工機を2014

年2月に導入する。1台

で溶接と切断ができ、少

量品でも一定水準の生産

効率を保てる。投資額は

2400万円。3年後を

めどに試作の受注金額で

現在比約2倍の6億円を

加工した2輪用マフラー

部品

を目指す。

導入するレーザー加工

機はスイスのABB製6

軸多関節ロボットでヘッ

ドを動かし、複雑な3次

元形状を加工する。アー

ムロボットの両側に溶接

作業スペースと外形切断

スペースを設け、溶接と

切断を1台で行えるよう

にする。ファイバーレ

ザーの最大出力は2キ

ワ。加工速度は従来の二

酸化炭素（CO<sub>2</sub>）レ

ザーの約3倍。レーザー

加工径が0・1ミリと小

さく、端面が小さい薄板

材を溶接加工できる。円

筒状の部品の場合、押し

出し材と比べて材料のム

ダ削減や軽量化が可能に

なる。切断ではステンレ

ス材なら、厚さ5ミリ程

度まで高精度に加工でき

る。まず2輪車メーカー

から受注予定の大型2輪

車用マフラーカバーの切

断加工を同加工機で行う

予定だ。

同社は中・大型2輪車

と農業機械向けマフラー

量産が主力。13年3月期

の売上高は約53億円。試

作品や少量品の受注で社

内の技術力を高めるとこ

もに、利益拡大も狙う。